

栳島

だより

26号



6月 市道栳島14号線 大小瀬

大雨相次ぐ

6月、7月と大雨が続き、栳島でも土砂崩れなどの被害がありました。

6月25日午前5時頃、栳島に記録的短時間大雨情報が出され、警戒レベル4となりました。強い雨が降ったりやんだりの天気が、翌26日まで続きました。

県道で5カ所、大小瀬への市道で1カ所土砂崩れがありました。また、伊福貴の元井上旅館近くの側溝が、草木で詰まるなどしました。建物への被害や怪我人が出る等の被害はありませんでした。

テレビなどでは「50年に1度の大雨」と報道されました。昨年7月の台風時も「50年に1度」と表現されましたが…。心配した親類、知人から連絡があった方も多いのではないのでしょうか。

また、7月6日にも大雨となり、この際には大小瀬への市道が陥没して、車が通るのが危ない状態になりました。いずれも大雨の被害後には、草野土木さんにより土砂の撤去などの復旧作業が行われました。

今年は梅雨明けも遅く7月30日頃だったと発表されています。その後も梅雨のような天気が続き、お盆頃ようやく夏らしい天気になりました。



6月 計6カ所が崩れた



7月 大小瀬陥没箇所

○新型コロナウイルス対策 中止事業等

新型コロナウイルス感染拡大対策として、以下の通り決定しています。

【今年度中止】

- ・採石場見学
- ・長大落研 落語口演
- ・お祭り男募集
(外部からの募集を中止)

その他の事業も、今後の状況により中止となる場合があります。

開催する事業については、感染拡大の防止策を徹底した上で実施します。

【延期】

- ・スマホ講座（実施時期未定）
- ・ふれあいペタンク（第1回終了）

【連載】②あなたが主役 まちづくり協議会とは

元気なまちを作るには？その明確な答えはありません。地区それぞれで事情は違います。梶島は二次離島という地理的な不便もあり、福江島他地区と同じ目線で活動はできません。

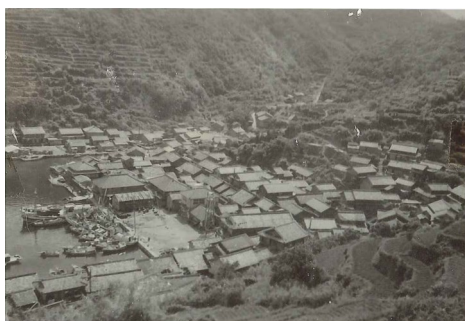
まちづくり協議会の合言葉は「地域で決めて地域で実行する」です。

みなさん一人一人の暮らしぶりや思いがまちづくり協議会の根幹です。それを基本に住民の間で地区が目標とする姿を話し合い、課題を発見し、問題を解決する仕組みを考え、実行する。そんな組織が理想です。行政はその取り組みをサポート・後押しします。

地区の実情にあった活動に取り組む、住民の誰もが主役になれるまちづくり協議会を、みなさんの手で作っていきましょう！

求む！ 梶島の写真

昔の風景
や暮らしぶ
りが写っ
た、梶島の
写真を貸し
てくださ



い。もちろ
ん、写真はそのままお返しします。

1950年代の伊福貴

貴重な資料である昔の写真を、デジタルデータとして後世に残す事業を進めています。お宅に眠っている思い出の写真などをお借りして、半永久的に保管が可能なデジタルデータにして保管します。

時が経つにつれ失われてゆく貴重な資料を、ぜひ一度、お預けください。

梶島地区まちづくり協議会報
梶島地区まちづくり協議会事務局
発行 令和2年8月